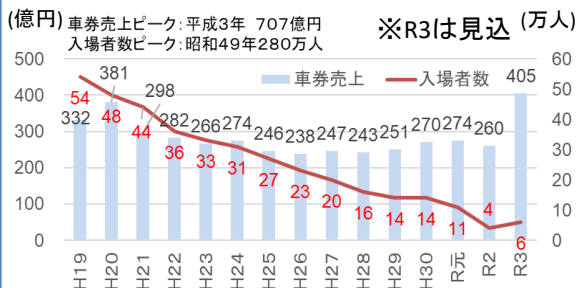


埼玉県競輪事業検討委員会報告書「県営競輪の現状と課題」(概要版)

1 県営競輪の現状

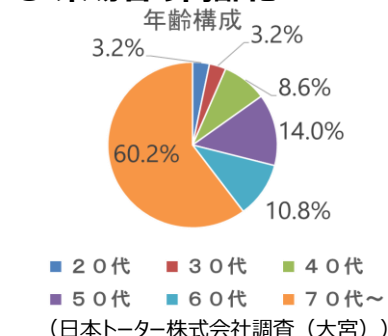
○ 入場者数は減少傾向、車券売上は下げ止まりから増加傾向へ



○ 売上構造の変化 (インターネット売上の急激な増加)



○ 来場者の高齢化



○ 全国唯一の2場体制

- 大宮双輪場 S24開設 照明設備なし、ナイト未実施
- 西武園競輪場 S25開設 H28年度ミッドナイト競輪開始

大宮双輪場



西武園競輪場



2 課題と対応

課題1：県収益の向上

競輪事業は収益をあげ、県財政に貢献しなければならない。
この目的を果たすため、より多くの収益を生み出し、その収益を県民に還元できる事業とする必要がある。

(対応策)

- G Iレースなど大きな売上が見込めるレースの継続的な誘致
- ネット利用者向けキャンペーン等、効果を考慮した集中的な投資

など

課題2：競輪事業の活性化

入場者数の減少傾向や高齢化を考えると、競輪事業の継続的な発展のためには新たなファン層の開拓を行う必要がある。

(対応策)

- 競輪場入場料の無料化
- YouTuberによる競輪紹介動画作成など競輪初心者向けサービスの拡充
- 団体客誘致のためのBOX席の導入検討
- スポーツバーと連携したネット車券販売の展開

など

課題3：競輪のイメージアップ

委託事業者が競輪場のイメージについて調査したところ、多くの人が競輪場に良い印象を持っていないという結果が出た。競輪事業の目的周知やイメージアップを図る必要がある。

(対応策)

- オリンピック種目であることを活用した競輪の魅力発信
- Jリーグのブランディングの研究

など

課題4：中長期的な課題

事業環境が大きく変化する中で、県財政、県民への貢献という責務をどのように果たしていくか、検討する必要がある。

(委員からの意見)

- 売上が好調なこともあり、当面は大宮と西武園の2場体制を継続
- 収益最大化のため、1場に思い切った投資を行うなど投資の選択と集中を検討
- 効率的な施設活用の観点から、他のスポーツ練習施設、会議室、災害時の避難場所など、複合的な施設となるよう検討するべき など